

平成29年度事業報告（法人全体）

社会福祉法人 小田原支援センター

1 各事業所の状況

次の事業を設置経営し、地域の障害者の福祉向上に努めてきました。

障害福祉サービス事業		年度末登録者数
(1) 小田原アシスト（多機能型）	総定員 60名	(45名)
就労継続支援B型（本体）	40名	(33名)
就労継続支援B型（パン工房イースト）	10名	(6名)
生活介護（第3小田原アシスト）	10名	(6名)
(2) 第2小田原アシスト	定員20名	(21名)
就労継続支援B型		
(3) 喜心寮	定員 5名	(5名)
共同生活援助		
地域活動支援センター		
(1) 小田原スプリングス	定員20名	(13名)

一昨年オープンしたパン工房イーストは、東町地域の街のパン屋さんとして認知され、固定客も多くなってきています。またイースト内のイートインスペースは、地域の方に活用され小さい子供ずれのお母さん方からお年寄りまで幅広い年齢層の方に利用されています。昼食時等は、時折満席になることもありました。

就労継続支援B型の小田原アシスト、第2小田原アシストはHONDA車部品の作業を中心としながらも、その他に様々な作業種を持ち、障害程度や本人の意向に沿った作業を提供し、働く施設として今年度も活動できました。

しかしながらアシストは、年間を通して定員が割れた状態でした。

共同生活援助事業は、5名の利用者の方がおり、安定して地域生活を送ることが出来ました。

地域活動支援センターの小田原スプリングスは、納期の厳しくない箱折りを中心に自主製品等の制作等を行い、個々の生活の状況に合わせて利用者の方たちは様々な利用の仕方を行っています。施設の定員に対しては、割れた状態が続いています。

就労系の事業所は、HONDA車部品の作業量も安定しており、また一般軽作業の作業量も増加し、パン工房での収入も増えたことにより、今年度も利用者の方の工賃を昨年度に比べ多く支払うことが出来ました。

余暇・文化活動においては、ボランティアの皆様のご協力により今年度も多くの余暇を展開することが出来ました。

最後に全体を通して、利用者の方に大きな事故やけが等もなく、落ち着いて過ごせた1年であったと思います。

2 評議員会の開催状況

定時評議員会

平成29年6月16日（金）

出席者 評議員5名、理事3名、監事1名

- 議題 第1号議案 平成28年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 理事6名の選任について
- 第3号議案 監事2名の選任について
- 第4号議案 理事及び監事の報酬等の額の決定について
- 第5号議案 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準について

定時評議員会

平成29年11月15日（水）

出席者 評議員5名、理事3名、監事1名

- 議題 第1号議案 平成29年度10月補正予算について

定時評議員会

平成30年3月28日（水）

出席者 評議員6名、理事3名、監事2名

- 議題 第1号議案 平成29年度2月補正予算について
- 第2号議案 平成30年度事業計画について
- 第3号議案 平成30年度当初予算について
- 第4号議案 理事1名選任について

3 理事会の開催状況

理事会

平成29年5月31日（水）

出席者 理事6名、監事2名

- 議題 第1号議案 平成28年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成28年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の承認について
- 第3号議案 定款細則について
- 第4号議案 理事及び監事の報酬等の額の案について
- 第5号議案 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準の案について
- 第6号議案 理事候補者について
- 第7号議案 監事候補者について
- 第8号議案 定時評議員会の開催日時、場所、目的事項及び議案の決定について
- 第9号議案 非常勤職員就業規則の改正について

理事会

平成29年6月16日（金）

出席者 理事6名、監事2名

議題 第1号議案 理事長選出について

第2号議案 評議員選任、解任委員の選任について

理事会

平成29年11月6日（月）

出席者 理事6名、監事2名

議題 第1号議案 最近の法人の状況について

第2号議案 平成29年度補正予算について

第3号議案 定時評議員会の開催日時、場所、目的事項及び議案の決定について

理事会

平成30年1月22日（月）

出席者 理事4名、監事2名

議題 第1号議案 法人指導監査の指摘事項、改善措置について

第2号議案 法人定款細則について

理事会

平成30年3月19日（月）

出席者 理事5名、監事2名

議題 第1号議案 経理規程の改正について

第2号議案 給料表の改正について

第3号議案 平成29年度2月補正予算について

第4号議案 平成30年度事業計画について

第5号議案 平成30年度予算について

第6号議案 理事長の退任と新理事長の選定について

第7号議案 各事業所管理者の退任と選任について

第8号議案 新理事の推薦について

第9号議案 定時評議員会の開催日時、場所、目的事項及び議案の決定について

4 評議員選任・解任委員会の開催状況

評議員の解任・選任はありませんでした。

5 前会計年度の監事監査の状況

平成29年5月31日（水）実施

平成28年度事業について（業務監査）

平成28年度決算書類について（会計監査）

改善すべき事項等はありませんでした。

6 重要な財産の処分及び譲受け

財産の処分、譲受けはありませんでした。

7 従たる事務所その他重要な組織（施設、事業所等）の設置、変更及び廃止 事業所の設置、変更及び廃止はありませんでした。

8 重要な役割を担う職員の選任及び解任

解任年月日 平成30年3月31日 管理者 望月 直洋

選任年月日 平成30年4月 1日 管理者 望月 衛

9 職員の状況（平成29年度末現在）

常勤職員数 7名

非常勤職員数 24名

10 行政官庁認可等事項

行政官庁認可等の事項はありませんでした。

11 法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況

指摘事項	改善措置
<p>文書指摘事項</p> <p>1. 職員を兼務する理事への給与の支払に関し、給与規定の俸給表の定めのない者がいるので、速やかに理事会決議により俸給表に額を定めること。</p> <p>2. 設備資金借入金元金償還補助に係る国庫補助金特別積立金の積立及び取崩しが会計基準に則って行われていないので、適正に会計処理を行うこと。</p> <p>【会計処理に係る付記】</p> <p>会計処理は、平成29年度決算の計算書類へ反映させて差し支えないが、そのような会計処理を行う場合は、その旨及び影響額（平成28年度までの積立及び取崩しの累計の影響額。会計基準の移行に係る分を含む。）を計算書類に注記（「15 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項」）するとともに、決算理事会及び定時評議員会における当該計算書類の承認に係る議案の中で説明すること（議事録に記載すること）。</p>	<p>1. 給料表を改正し、理事会にて審議して、承認を受けました。必要書類、理事会議事録参照。</p> <p>2. 必要な書類を揃えて理事会にて審議して、承認を受けました。</p> <p>① ～③について説明しました。必要書類、理事会議事録参照。</p>

なお、本指摘事項に係る改善報告の提出時（平成30年2月2日）には、以下の①～③について、監事（少なくとも財務管理について識見を有する者である監事）が確認した上で市に報告すること

- ① 平成28年度末日（平成29年3月31日）時点の国庫補助金等特別積立金の適正な残高の算定結果
- ② 適正な額により作成した平成28年度の「国庫補助金等特別積立金明細書」（別紙3（⑦））
- ③ 適正な額により作成した平成28年度の小田原アシスト拠点の「基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書」（別紙3（⑧））

3. 計算書類の付属明細書のうち作成されていないものがあるので作成すること。

3. 必要書類を備えて理事会にて審議して、承認を受けました。必要書類、理事会議事録参照。

12 作品展の開催

10月に、例年通り法人全体としてダイナシティウエストの吹きぬけ広場キャニオンを借用し、作品展を開催いたしました。

また、昨年度同様、3月には小八幡の三寶寺にて、作品展を開催いたしました。日頃から利用者がボランティアの方々と活動を展開してきた文化、創作活動（陶芸・絵画・絵手紙・書・七宝・刺し子・編物・ちりめん等）の発表の場であり、障害者についての啓発活動ができたと思います。

13 地域防災訓練参加

今年度もビジネス高校での津波の避難訓練及び地域自治会の防災訓練に参加させていただきました。災害時には地域との連携を図っていきます。

14 地域交流事業

自治会を通じた交流は出来ませんでした。パン工房イーストでの親子パン作り教室は参加された親子には好評でした。

今後も継続して行っていきたくと思います。

平成29年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
就労継続支援B型 小田原アシスト

1 はじめに

就労継続支援50名、生活介護10名、総数60名の多機能型事業所として活動してきました。現在定員が割れている状況です。

作業の中心である HONDA 車部品の作業量は安定しており、その他の軽作業も含め作業量は十分確保することが出来、利用者の安定した生活を支えることが出来ました。パン工房イーストも地域の方に多く利用され、利用者の方々も生き生きと働くことが出来ています。

また工賃も昨年度より多く支払うことが出来ました。

2 利用者の状況

月	開所日	登録者数	出勤延人数	1日平均出勤人数
4	21	41	723	34, 4
5	19	41	641	33, 7
6	23	41	800	34, 8
7	21	41	749	35, 7
8	18	41	630	35, 0
9	21	42	748	35, 6
10	22	40	754	34, 3
11	22	40	736	33, 5
12	21	39	680	32, 4
1	19	39	576	30, 3
2	20	40	623	31, 2
3	23	39	690	30
計	250			

1日平均出席人数 1日33.4人 (昨年度35.8人)

3 職員の状況

援助職員数は、利用者数：援助職員数は7.5：1で配置し、さらに、目標工賃達成指導員を配置しています。

- ① 管理者1名 ② サービス管理責任者1名 (常勤)
- ③ 援助職員 職業援助員1名 (常勤) 目標工賃達成指導員1名 (常勤)
生活援助員10名 (非常勤) 常勤換算7.4名

4 援助の状況

(1) 就労支援 (授産活動)

自動車部品の作業量は安定し、自主製品 (パン、ケーキ、クッキー、陶芸等)

や一般軽作業を継続し作業量は十分確保することが出来ました。
 また、工賃も昨年度よりも多く支払うことが出来ました。
 (授産事業決算書参照。)

① 企業からの受注作業

- ・(株) 研進様より提供されるホンダ技研工業自動車部品の組み立て
- ・スタンレー電気の部品組み立て
- ・ボールペン等の組み立て
- ・その他軽作業

② 自主製品製造販売

- ・パン・焼き菓子等の製造販売
- ・陶芸等

③ 工賃支払い状況

月	支給総額	平均工賃
4	542,400円	13,500円
5	396,300円	10,162円
6	548,500円	14,064円
7	538,100円	13,797円
8月+賞与	740,200円	18,505円
9	565,700円	13,798円
10	509,900円	12,437円
11	490,400円	12,260円
12月+賞与	823,200円	20,580円
1	368,900円	9,708円
2	487,400円	12,826円
3月+賞与	741,600円	19,015円
計	6,752,600円	月平均14,246円

昨年度の工賃より月平均で約1,000円近く工賃を多く支払うことが出来ました。

(2) 文化・創作活動

多くのボランティア(20名余)の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を得、豊かな心で潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月にダイナシティ(SEIBU)の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝え

ることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓発活動と自主製品の販売を行いました。

(3) 行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	焼肉昼食会	すたみな太郎
5	バス旅行	群馬方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
7	ボウリング大会	シティーモール
9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	HONDA 狭山工場見学
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティーウエスト
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	万葉の湯
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

* 年6回、誕生食事会を実施。

(4) 健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加しました。

所内研修

平成30年3月30日(金)午後14時00より16時00まで職員全員で会議及び「人権について(虐待防止)」の学習会を行った。また、法人としての「倫理綱領」「職員行動規範」を作成し、職員全員で障害者福祉の担い手としての意識、心構えを確認しあいました。

4 援助の状況

(1) 日中活動

軽作業のシール貼り、封入作業とちぎり絵を中心に季節の小物等の作成を行い、ゆったりとした時間の中で、職員との関わりを大切にしながら日中活動を行っています。

また、週に3回、体力づくりを兼ねて清掃活動を行っており、地域の方々との触れ合いの場面となっています。

(2) 工賃の支払い状況

月	支給総額	平均工賃
4月	22,300円	4,460
5月	17,800円	3,560
6月	24,900円	4,980
7月	23,300円	4,660
8月+賞与	32,200円	6,440
9月	25,400円	5,080
10月	23,400円	4,680
11月	22,100円	4,420
12月+賞与	41,600円	6,933
1月	16,300円	2,717
2月	20,900円	4,180
3月+賞与	35,600円	5,933
計	305,800円	月平均4,854円

(3) 健康管理

毎朝、本人の状況確認と体温測定、看護師による血圧測定を行い、利用者の方の健康管理を行っています。

(4) 文化・創作活動

法人全体で多くのボランティア(20名余)の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に開催したダイナシティ(SEIBU)の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓蒙活動と自主製品の販売を行いました。

(3) 行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	焼肉昼食会	すたみな太郎
5	バス旅行	群馬方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
7	ボウリング大会	シティーモール
9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	HONDA 狭山工場見学
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティーウエスト
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	万葉の湯
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

* 2ヶ月に1回誕生食事会を実施。

(4) 健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

所内研修

平成30年3月30日(金)午後14時00より16時00まで職員全員で会議及び「人権について(虐待防止)」の学習会を行った。また、法人としての「倫理綱領」「職員行動規範」を作成し、職員全員で障害者福祉の担い手としての意識、心構えを確認しあいました。

平成29年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
就労継続支援B型 第2小田原アシスト

1 はじめに

作業の中心である HONDA 車部品の作業は安定しており、その他の軽作業も継続し、作業量は十分確保することが出来、利用者の安定した生活を支えることが出来ました。また工賃も昨年度より多く支払うことが出来ました。

2 利用者の状況

月	開所日	在籍数	出勤延数	1日平均出勤人数
4	21	21	399	19,0
5	19	21	362	19,1
6	23	21	444	19,3
7	21	21	399	19,0
8	18	21	337	18,7
9	21	21	410	19,5
10	22	21	413	18,8
11	22	21	424	19,3
12	21	21	407	19,4
1	19	21	357	18,8
2	20	21	387	19,4
3	23	21	420	18,3
計	250			月平均19,05

平均出席人員 1日 18.7人 (昨年度20.7人)

3 職員の状況

援助職員数の、利用者数：援助職員数は7,5：1で配置し、また目標工賃達成指導員も配置しました。

- ③ 管理者1名（兼務） ② サービス管理者1名（常勤）
④ 援助職員 職業援助員1名（常勤） 生活援助員2名（非常勤）
目標工賃達成指導員1名（非常勤）

4 援助の状況

(1) 就労支援（授産活動）

自動車部品の作業は安定しており、一般軽作業を継続し作業量は十分確保することが出来ました。

また、工賃も昨年度よりも多く支払うことが出来ました。

(授産事業決算書参照。)

① 企業からの受注作業

- ・進和学園より提供される HONDA 車部品の組み立て
- ・ケーキ袋のシール貼り
- ・その他軽作業

② 工賃支払い状況

月	支給総額	平均工賃
4	298,600円	14,219
5	216,400円	10,305
6	299,800円	14,276
7	295,000円	14,048
8月+賞与	389,900円	18,567
9	304,200円	14,486
10	277,000円	13,190
11	273,400円	13,019
12月+賞与	473,700円	22,557
1	212,400円	10,114
2	299,100円	14,243
3月+賞与	440,500円	20,976
計	3,780,000円	月平均 15,000円

昨年度の工賃より月平均で約1,000円近く工賃を多く支払うことが出来ました。

(2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に開催したダイナシティ（SEIBU）の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓蒙活動と自主製品の販売を行いました。

(3) 行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	焼肉昼食会	すたみな太郎
5	バス旅行	群馬方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
7	ボウリング大会	シティーモール
9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	HONDA 狭山工場見学
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティーウエスト
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	万葉の湯
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

* 年6回誕生食事会を実施。

(4) 健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

所内研修

平成30年3月30日（金）午後14時00より16時00まで職員全員で会議及び「人権について（虐待防止）」の学習会を行った。また、法人としての「倫理綱領」「職員行動規範」を作成し、職員全員で障害者福祉の担い手としての意識、心構えを確認しあいました。

平成29年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
共同生活援助 喜心寮

1 はじめに

今年度も利用者の入れ替えなく、5名の男子利用者に対し安定した住環境を提供し、安心して地域生活が送れるよう援助をしました。

2 利用者の動向

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
援助	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

3 利用者の現況（平成29年3月31日現在）

喜心寮

No	性別	年齢	収入（含年金）	勤務先	担当市町村	支援区分
1	男	28	85,000	第2小田原アシスト	小田原市	区分3
2	男	46	85,000	小田原アシスト	小田原市	区分2
3	男	61	85,000	第2小田原アシスト	小田原市	区分2
4	男	69	85,000	第3小田原アシスト	小田原市	区分2
5	男	28	85,000	第2小田原アシスト	横浜市	区分3

4 職員の状況

- ① 管理者 1名（兼務）
- ② サービス管理者 1名（兼務）
- ③ 世話人 3名（非常勤、専任）

5 行事の実施

法人内の施設行事に参加。

6 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

所内研修

平成30年3月30日（金）午後14時00より16時00まで
職員全員で会議及び「人権について（虐待防止）」の学習会を行った。
また、法人としての「倫理綱領」「職員行動規範」を作成し、職員全員で障害者福祉の担い手としての意識、心構えを確認しあいました。

平成29年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター
小田原市地域活動支援センター
小田原スプリングス

1 はじめに

地域活動支援センターとして5年目が経過しました。本人の希望に沿って、精神障害者、知的障害者、身体障害者等が利用しています。

29年3月31日現在、精神障害者が7名、知的障害者が4名、身体障害者が1名、中途障害者が1名、計13名が利用しています。

2 利用者の状況

年度当初は16名の在籍登録者でしたが、亡くなられた方、結婚して転居された方、通所しきれずに退所された方等3名の方が退所され、定員に対し空きがある状況です。

月	開所日	在籍利用者数	延べ利用者数	1日平均の出勤人数
4	21	16	128	6.1
5	19	16	103	5.42
6	23	16	122	5.3
7	21	15	83	3.95
8	18	14	76	4.22
9	21	14	110	5.24
10	22	14	124	5.64
11	22	14	119	5.41
12	21	14	111	5.29
1	19	14	101	5.32
2	20	14	116	5.8
3	23	14	132	5.74
計	250			平均 5.3人

3 職員の状況

管理者（兼務）	1名
常勤（専任）指導員	2名
非常勤指導員	1名

4 援助の状況

(1) 生産活動

毎日通所出来る方から、週に3日程度、月に2～3日利用する方まで様々な方が利用しており、作業種目としては、箱折りを中心としながら、陶芸、紙漉

き葉書、編物等の施設内で自己完結が可能な自主製品の製作と、ノルマのあまりないシール貼り、封入作業を導入し個々の作業能力、本人の希望によって作業種目を選択できるようにしています。

工賃支給状況

月	支給総額	平均工賃
4	59,600円	4,585円
5	41,800円	3,483円
6	52,000円	5,200円
7	36,900円	3,690円
8月+賞与	58,200円	5,291円
9	49,400円	5,489円
10	48,600円	5,400円
11	47,900円	5,322円
12月+賞与	78,800円	7,880円
1	39,800円	3,980円
2	53,400円	4,855円
3月+賞与	74,200円	6,745円
計	640,600円	月平均 5,125円

(2) 文化・創作活動

法人全体で多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に市内中里のダイナシティ、及び3月には市内小八幡の三寶寺にて作品展を開催し、作品を通して障害を持った方々を知ってもらうとともに、啓発活動を行いました。

(3) 行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	焼肉昼食会	すたみな太郎
5	バス旅行	群馬方面
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
7	ボウリング大会	シティーモール

9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	HONDA 狭山工場見学
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティーウエスト
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	万葉の湯
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

*年6回誕生食事会を実施。(2ヶ月に1回)

健康診断、自治会と合同避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

所内研修

日時 平成30年3月30日(金) 午後14時00より16時00まで

職員全員で会議及び「人権について(虐待防止)」の学習会を行った。
また、法人としての「倫理綱領」「職員行動規範」を作成し、職員全員で障害者福祉の担い手としての意識、心構えを確認しあいました。